

「老後の生活設計と公的年金に関する世論調査」の概要

平成 31 年 1 月
内閣府政府広報室

- 調査対象 全国 18 歳以上の日本国籍を有する者 5,000 人
有効回収数 2,919 人 (回収率 58.4%)
- 調査期間 平成 30 年 11 月 1 日 ~ 11 月 18 日 (調査員による個別面接聴取)
- 調査目的 老後の生活設計と公的年金に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目 1 老後の生活設計について
2 公的年金制度への関心および広報について
- 調査実績 「公的年金制度に関する世論調査」(平成 15 年 2 月)
「公的年金制度に関する世論調査」(平成 10 年 3 月)
「公的年金制度に関する世論調査」(平成 5 年 8 月)
- その他
- ・ 平成 28 年度以降、調査対象者の年齢を 18 歳以上に引き下げたため、20 歳以上で実施した 27 年度までの調査との比較には注意を要する。
 - ・ 図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が 100 にならないこともある。

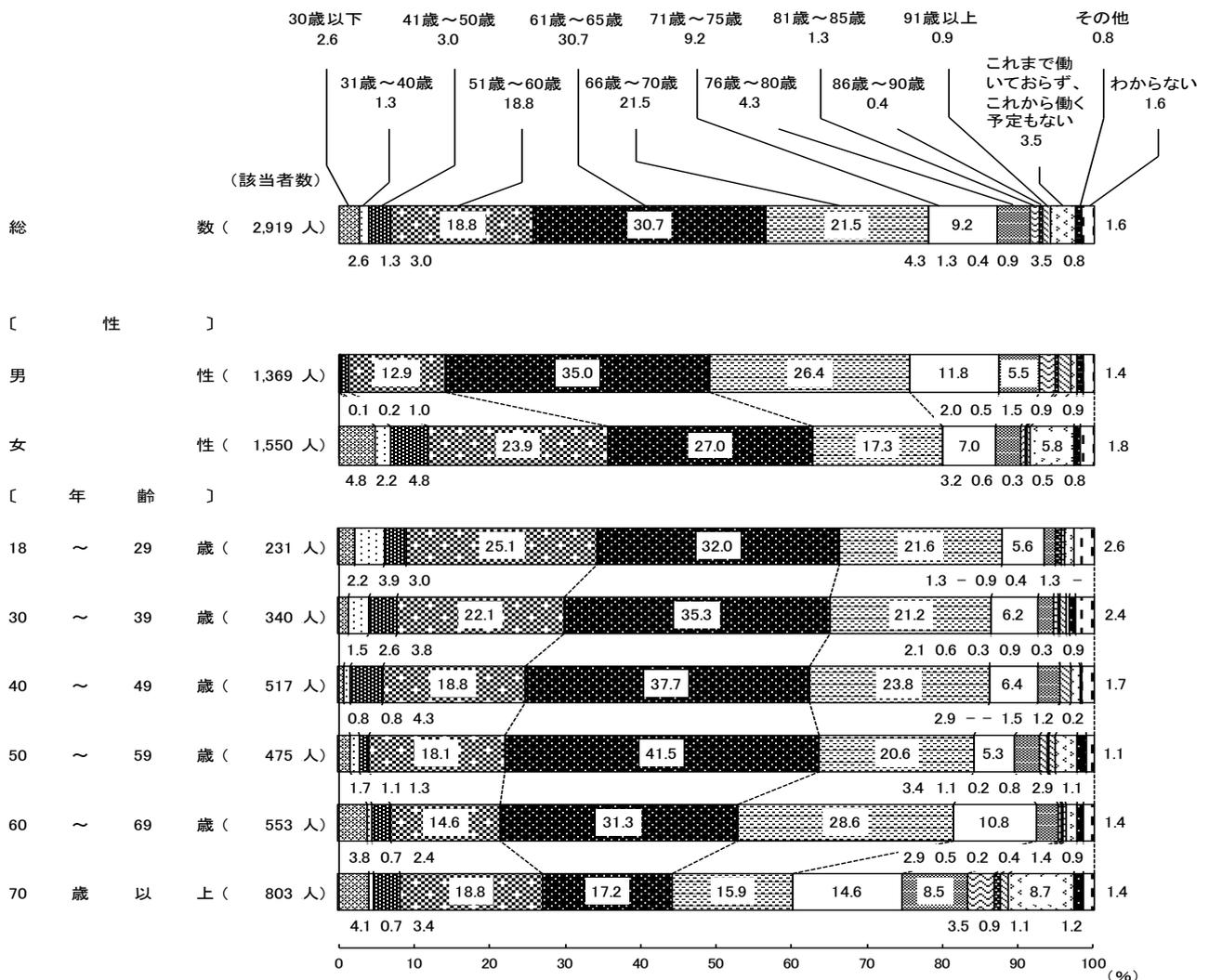
1 老後の生活設計について

(1) 何歳まで仕事をしたいか(したか)

問1 あなたは、何歳頃まで収入を伴う仕事をしたいと考えますか。既に退職し、今後働く予定のない方は、何歳頃に収入を伴う仕事を退職しましたか。この中から1つだけお答えください。

平成 30 年 11 月

・ 30 歳以下	2.6%
・ 31 歳～40 歳	1.3%
・ 41 歳～50 歳	3.0%
・ 51 歳～60 歳	18.8%
・ 61 歳～65 歳	30.7%
・ 66 歳～70 歳	21.5%
・ 71 歳～75 歳	9.2%
・ 76 歳～80 歳	4.3%
・ 81 歳～85 歳	1.3%
・ 86 歳～90 歳	0.4%
・ 91 歳以上	0.9%
・ これまで働いておらず、これから働く予定もない	3.5%



ア その年齢で退職したい（した）理由

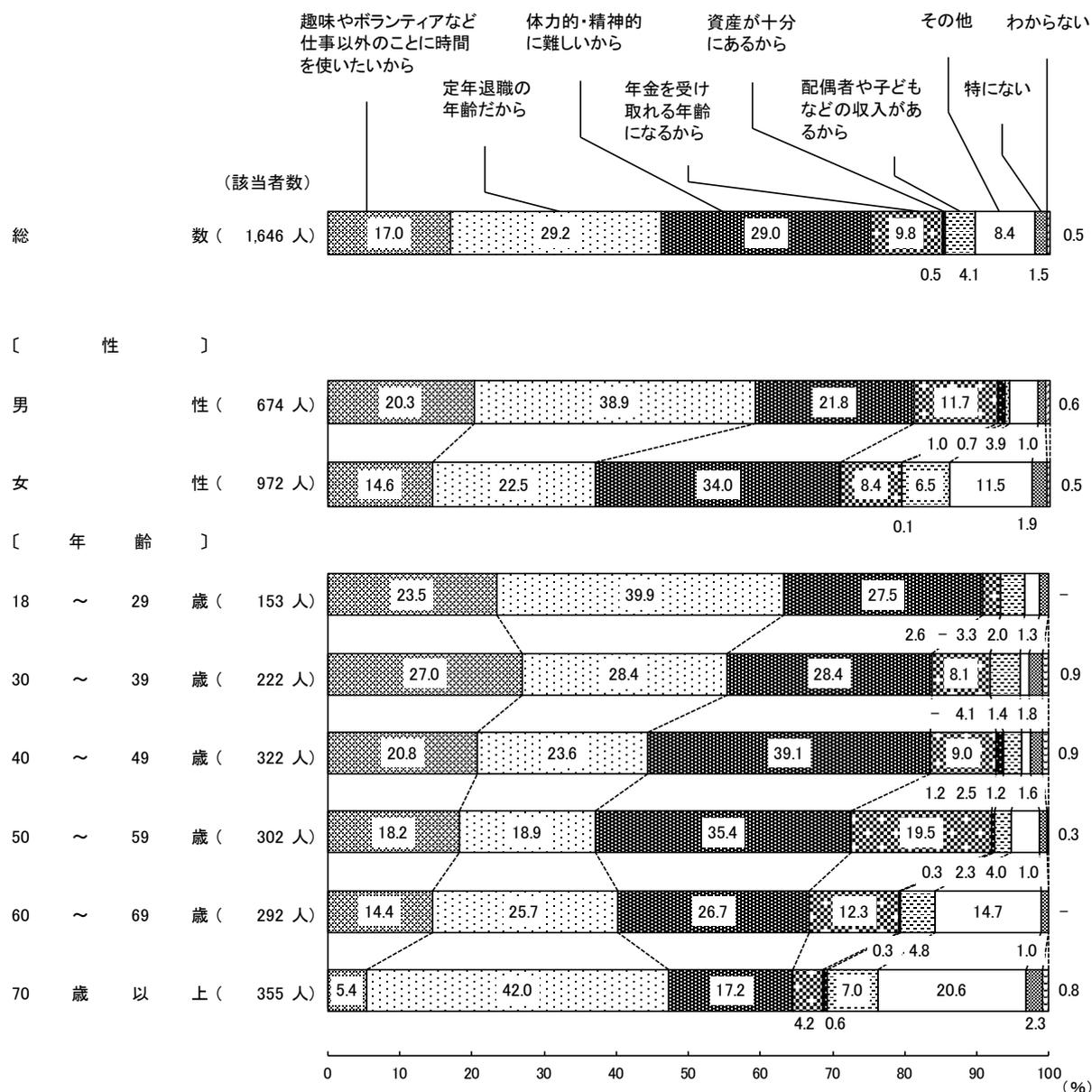
更問1（問1で「30歳以下」「31歳～40歳」「41歳～50歳」「51歳～60歳」「61歳～65歳」と答えた方（1,646人）に）

その年齢で退職したいと思う理由、または退職した理由は何ですか。この中から最も当てはまるものを1つだけお答えください。

平成30年11月

- ・趣味やボランティアなど仕事以外のことに時間を使いたいから 17.0%
- ・定年退職の年齢だから 29.2%
- ・体力的・精神的に難しいから 29.0%
- ・年金を受け取れる年齢になるから 9.8%
- ・資産が十分にあるから 0.5%
- ・配偶者や子どもなどの収入があるから 4.1%

（収入を伴う仕事を「30歳以下」、「31歳～40歳」、「41歳～50歳」、「51歳～60歳」、「61歳～65歳」までしたい（した）と答えた者に）



イ その年齢まで働きたい（いた）理由

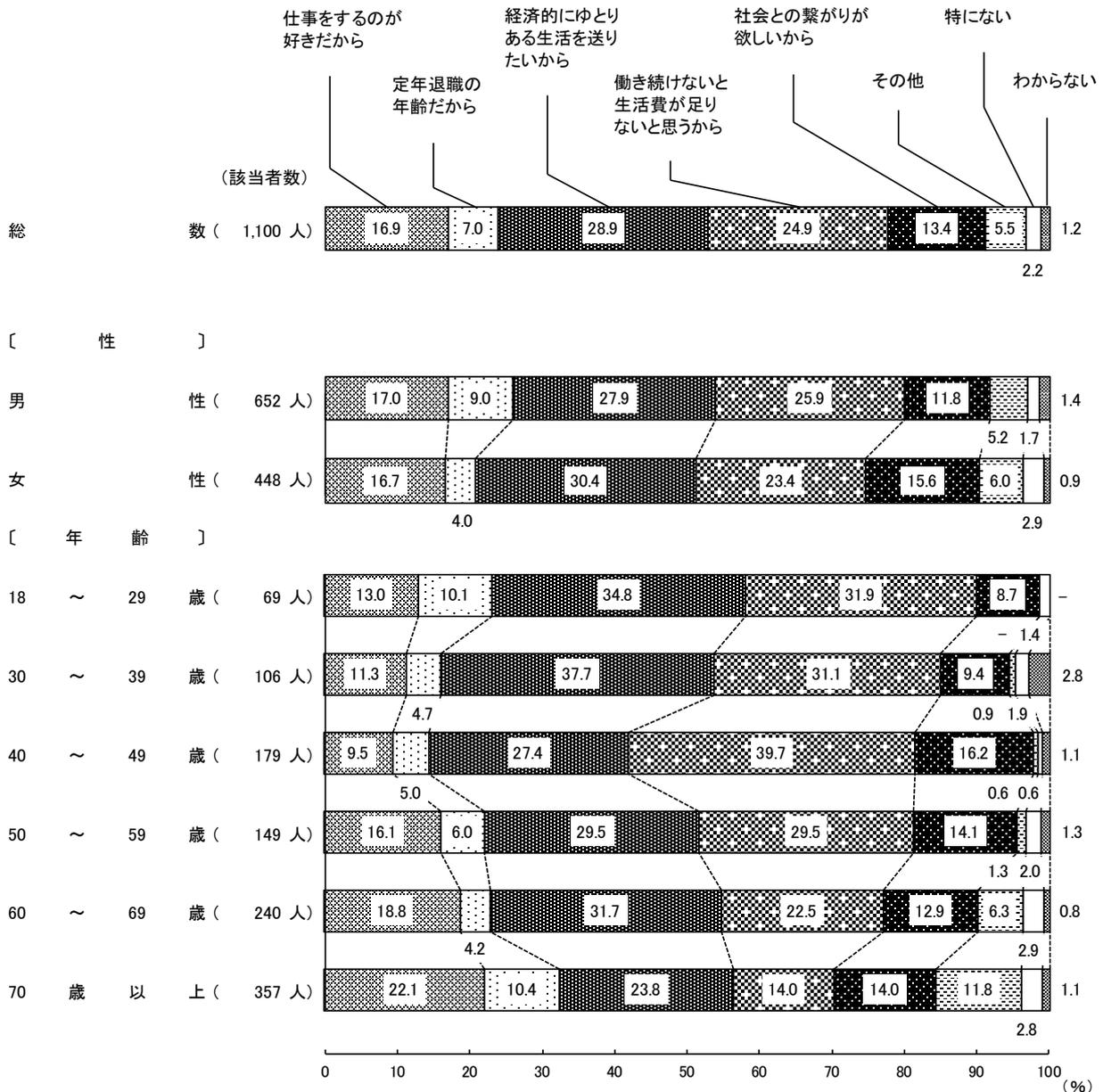
更問2（問1で「66歳～70歳」「71歳～75歳」「76歳～80歳」「81歳～85歳」「86歳～90歳」「91歳以上」と答えた方（1,100人）に）

その年齢まで働きたい理由は何ですか。既に退職した方は、退職した年齢まで働いた理由は何ですか。この中から最も当てはまるものを1つだけお答えください。

平成 30 年 11 月

- ・ 仕事をするのが好きだから 16.9%
- ・ 定年退職の年齢だから 7.0%
- ・ 経済的にゆとりある生活を送りたいから 28.9%
- ・ 働き続けないと生活費が足りないと思うから 24.9%
- ・ 社会との繋がりが欲しいから 13.4%

〔 収入を伴う仕事を「66歳～70歳」、「71歳～75歳」、「76歳～80歳」、「81歳～85歳」、「86歳～90歳」、「91歳以上」までしたい（した）と答えた者に 〕



(2) 老後の生活設計を考えたことの有無

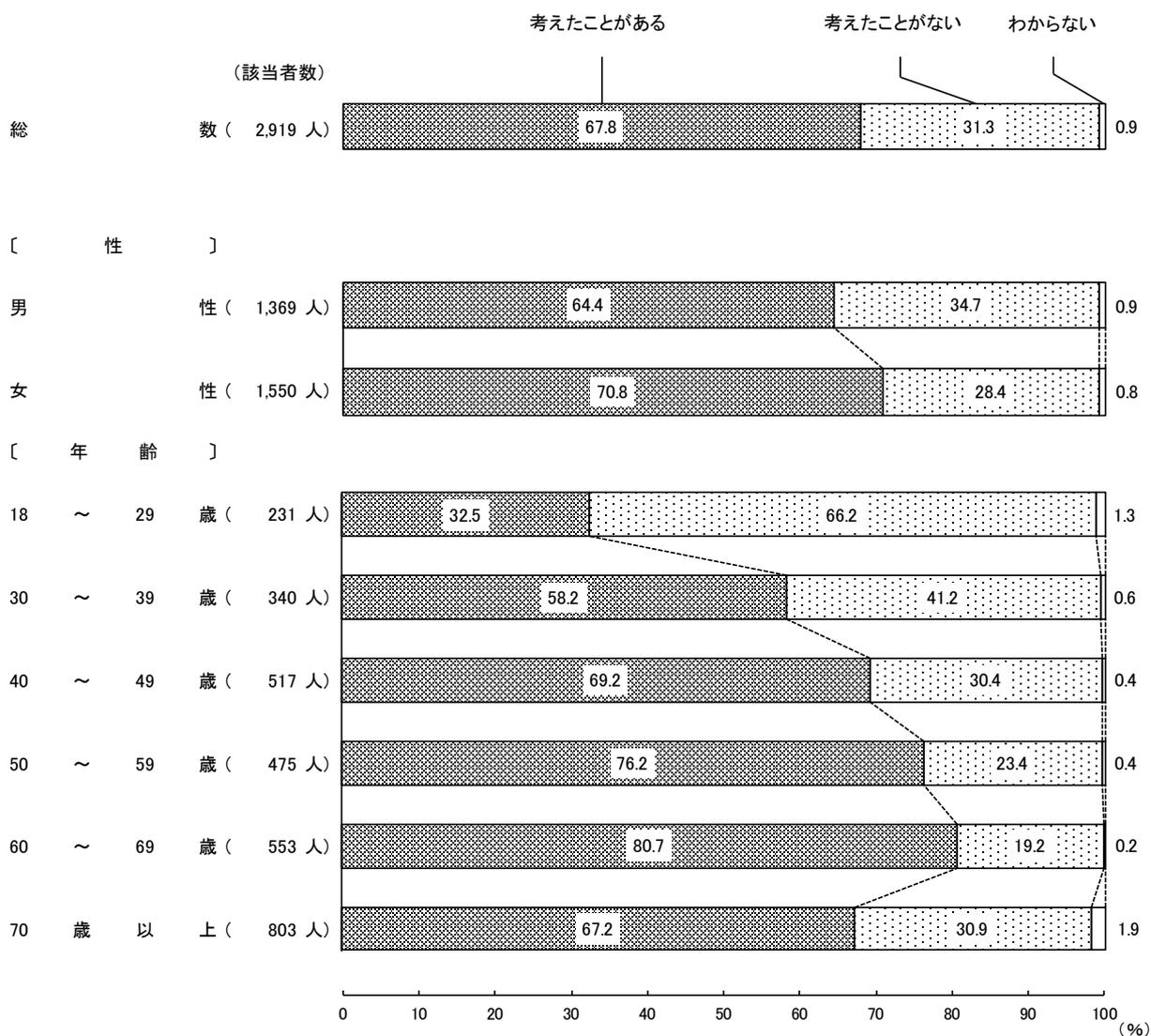
問2 あなたは、ご自身の老後の生活設計について考えたことがありますか。この中から1つだけお答えください。

平成 30 年 11 月

- ・考えたことがある
- ・考えたことがない

67.8%

31.3%



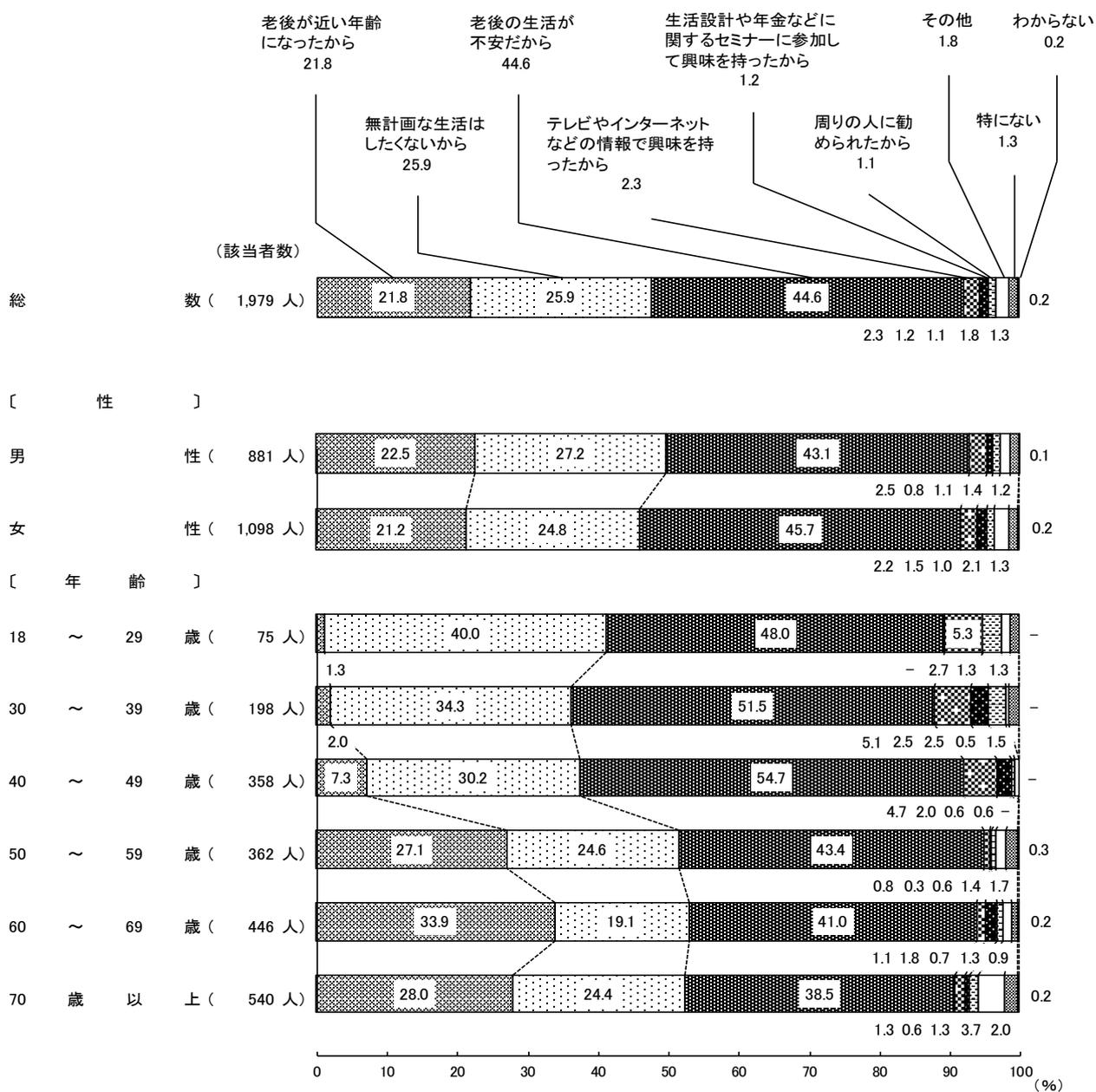
ア 老後の生活設計を考えた理由

更問 1 (問 2 で「考えたことがある」と答えた方 (1,979 人) に)
 あなたが、老後の生活設計について考えたことがある理由は何ですか。この中から最も
 当てはまるものを 1 つだけお答えください。

平成 30 年 11 月

- ・ 老後が近い年齢になったから 21.8%
- ・ 無計画な生活はしたくないから 25.9%
- ・ 老後の生活が不安だから 44.6%
- ・ テレビやインターネットなどの情報で興味を持ったから 2.3%
- ・ 生活設計や年金などに関するセミナーに参加して興味を持ったから 1.2%
- ・ 周りの人に勧められたから 1.1%

(老後の生活設計について「考えたことがある」と答えた者に)



イ 老後の生活設計の期間

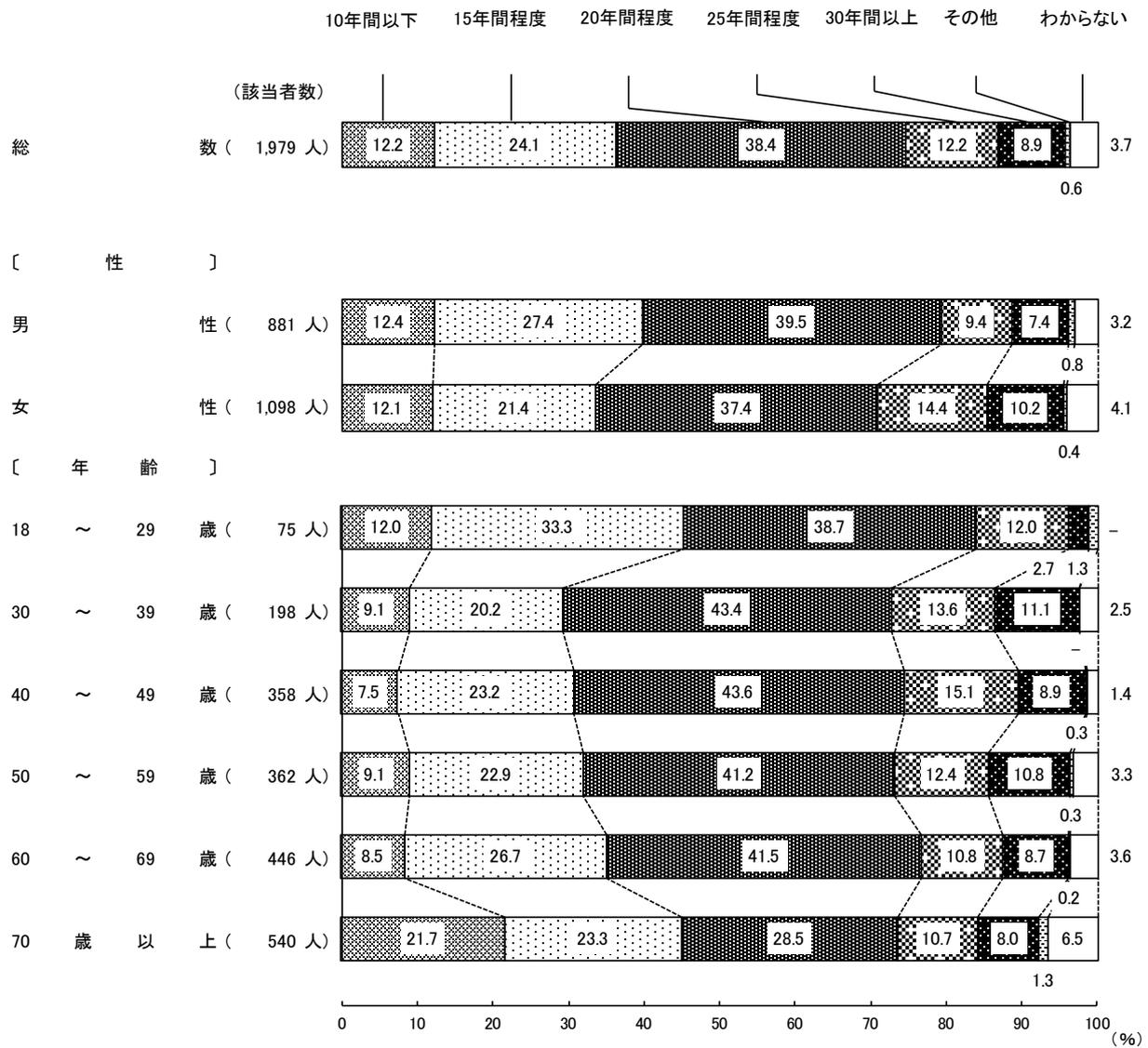
更問2（問2で「考えたことがある」と答えた方（1,979人）に）

あなたは、老後の生活設計の期間をどの程度と考えましたか。この中から1つだけお答えください。

平成30年11月

- ・10年間以下 12.2%
- ・15年間程度 24.1%
- ・20年間程度 38.4%
- ・25年間程度 12.2%
- ・30年間以上 8.9%

（老後の生活設計について「考えたことがある」と答えた者に）



ウ 老後の生活設計の中での公的年金の位置づけ

更問3（問2で「考えたことがある」と答えた方（1,979人）に）
 あなたは、老後の生活設計の中で、公的年金をどのように位置づけていますか。この中から1つだけお答えください。

平成30年11月

- ・ 全面的に公的年金に頼る 23.0%
- ・ 公的年金を中心とし、これに個人年金や貯蓄などを組み合わせる 55.1%
- ・ 公的年金にはなるべく頼らず、できるだけ個人年金や貯蓄などを中心に考える 15.5%
- ・ 公的年金には頼らない 4.8%

（老後の生活設計について「考えたことがある」と答えた者に）

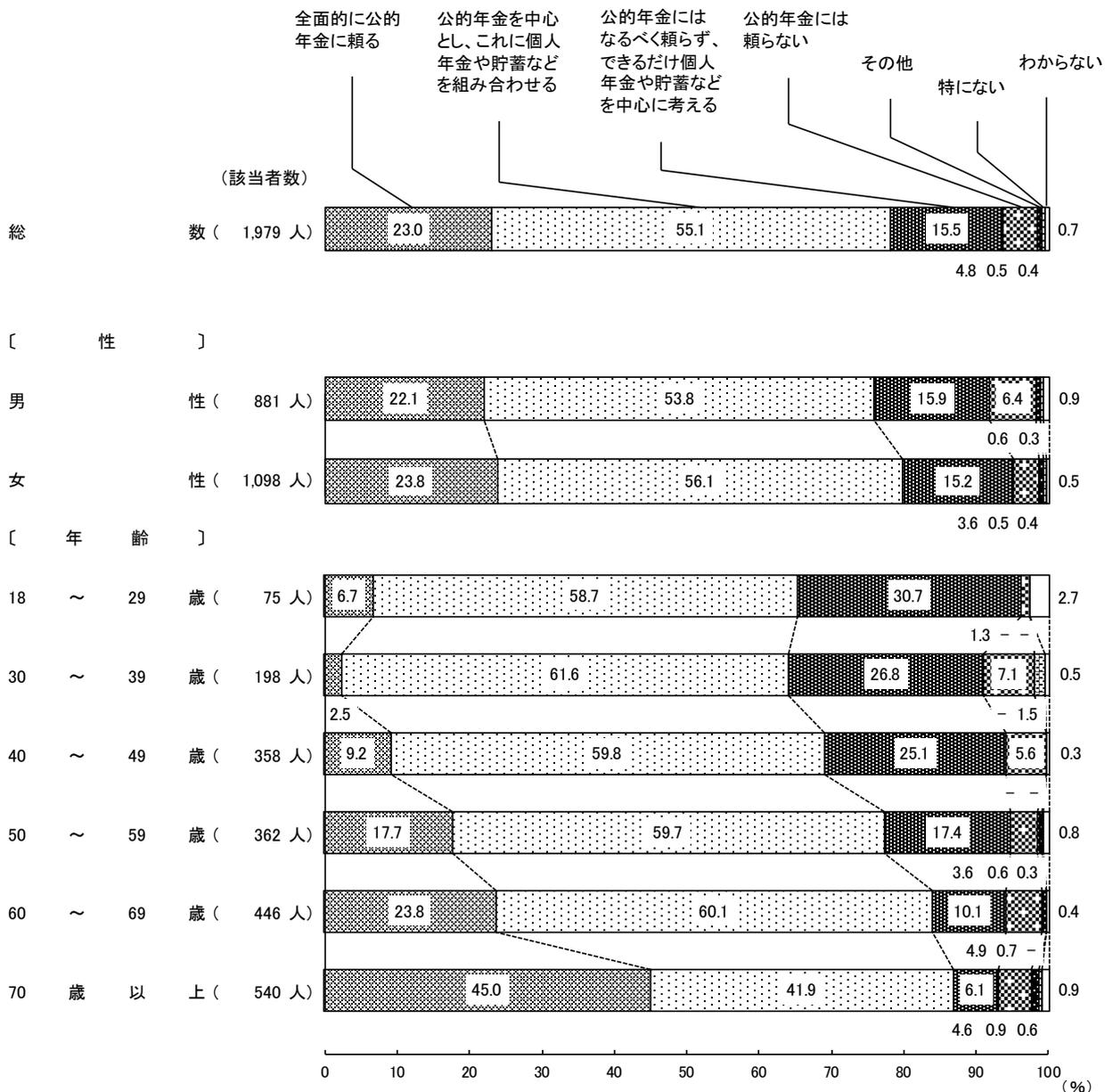


表 7 - 参考 老後の生活設計の中での公的年金の位置付け

	該 当 者 数	ほ ぼ 全 面 的 に 公 的 年 金 に 頼 る	公 的 年 金 を 中 心 と し、 こ れ に 個 人 年 金 や 貯 蓄 な ど の 自 助 努 力 を 組 み 合 わ せ る	公 的 年 金 に は な る べ く 頼 ら ず、 で き る 中 心 に 考 え る (注3)	公 的 年 金 に は 頼 ら ず、 子 ど も な ど に よ る 私 的 扶 養 に 頼 る (注4)	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%
平成 5 年 8 月 調 査	3,806	18.4	51.7	21.4	3.1	0.3	5.1
平成 10 年 3 月 調 査	3,646	21.8	51.0	21.4	1.9	0.4	3.5
平成 15 年 2 月 調 査	3,578	29.0	41.7	21.7	2.3	0.5	4.8

(注1) 平成5年8月及び平成10年3月「公的年金制度に関する世論調査」では、「あなたは、高齢期の生活設計の中で、公的年金をどのように位置づけていますか。この中から1つだけあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成15年2月「公的年金制度に関する世論調査」では、「あなたは、老後の生活設計の中で、公的年金をどのように位置づけていますか。この中から1つお答えください。」と聞いている。

(注3) 平成10年3月調査までは、「公的年金にはなるべく依存せず、できるだけ個人年金や貯蓄などの自助努力を中心に考える」となっている。

(注4) 平成10年3月調査までは、「公的年金には依存しないで、子どもなどによる私的扶養に頼る」となっている。□

エ 老後に向け準備したい（した）公的年金以外の資産

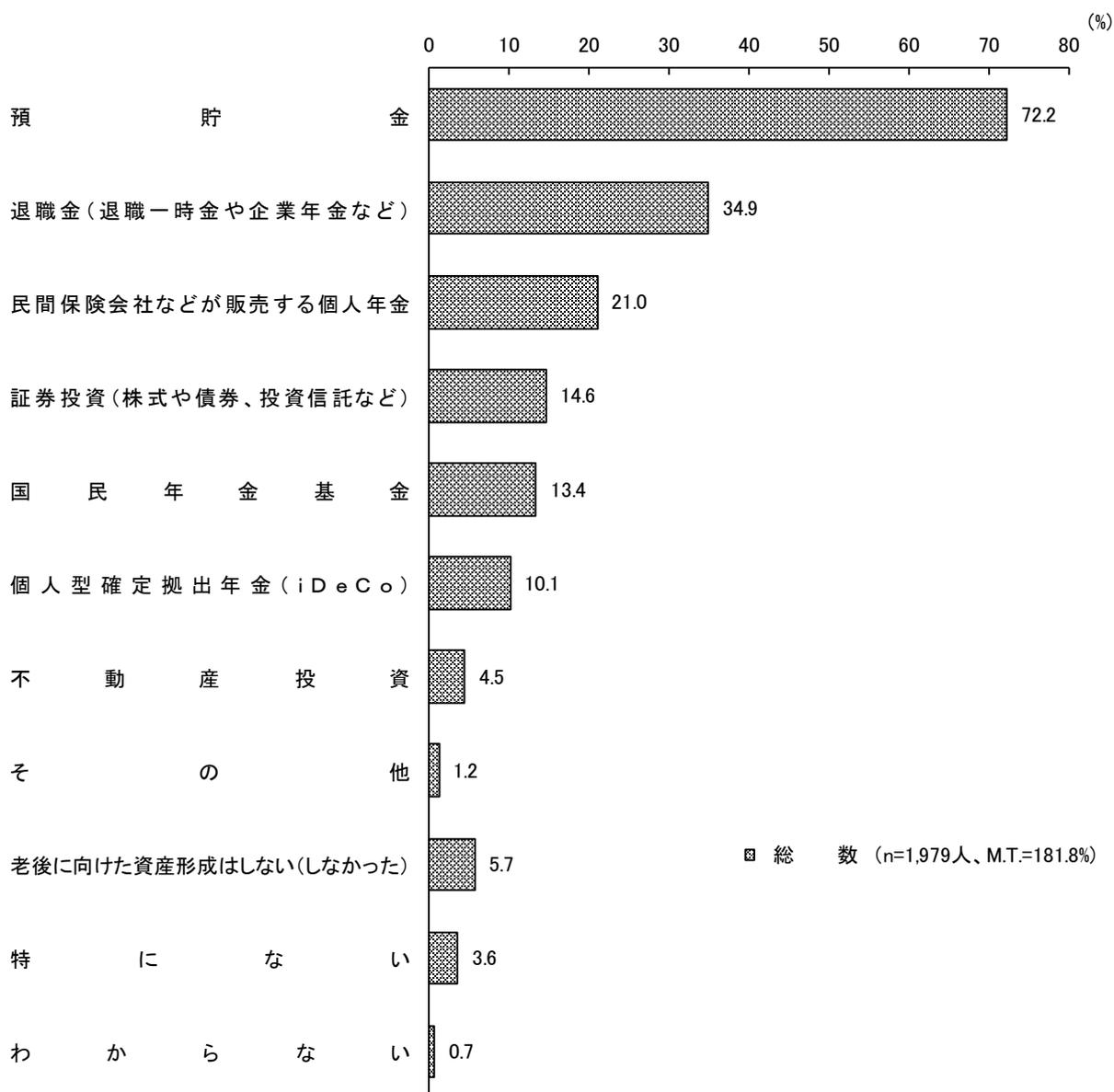
更問4（問2で「考えたことがある」と答えた方（1,979人）に）

あなたは、老後に向け、公的年金以外の資産をどのように準備したいと考えますか、または、準備をしてきましたか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

（上位5項目）
平成30年11月

・預貯金	72.2%
・退職金（退職一時金や企業年金など）	34.9%
・民間保険会社などが販売する個人年金	21.0%
・証券投資（株式や債券、投資信託など）	14.6%
・国民年金基金	13.4%

（老後の生活設計について「考えたことがある」と答えた者に、複数回答）



オ 老後の生活設計を考える年齢

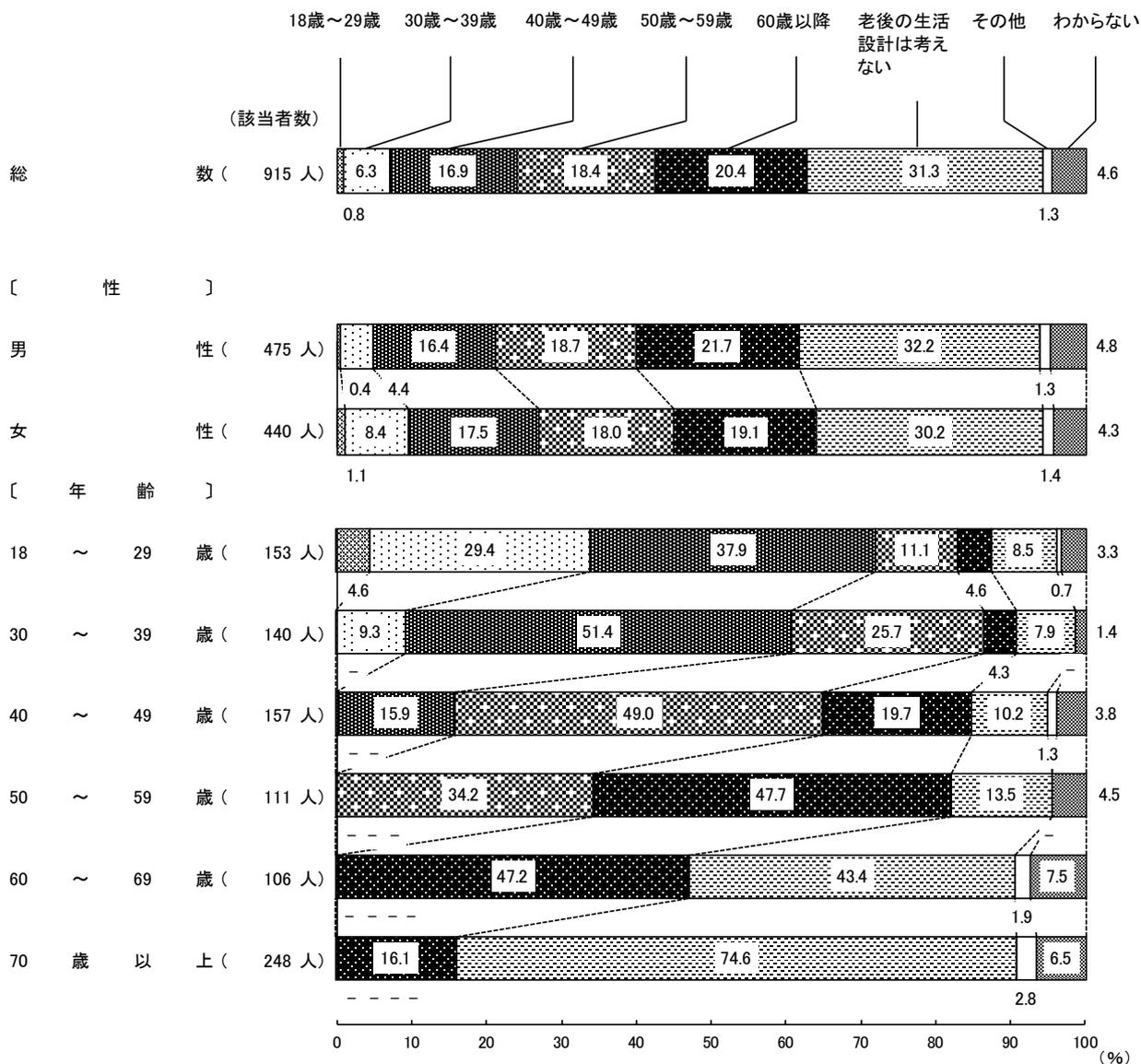
更問5（問2で「考えたことがない」と答えた方（915人）に）

あなたは、何歳頃から老後の生活設計を考えたいと思っていますか。この中から1つだけお答えください。

平成30年11月

- ・ 18歳～29歳 0.8%
- ・ 30歳～39歳 6.3%
- ・ 40歳～49歳 16.9%
- ・ 50歳～59歳 18.4%
- ・ 60歳以降 20.4%
- ・ 老後の生活設計は考えない 31.3%

（老後の生活設計について「考えたことがない」と答えた者に）



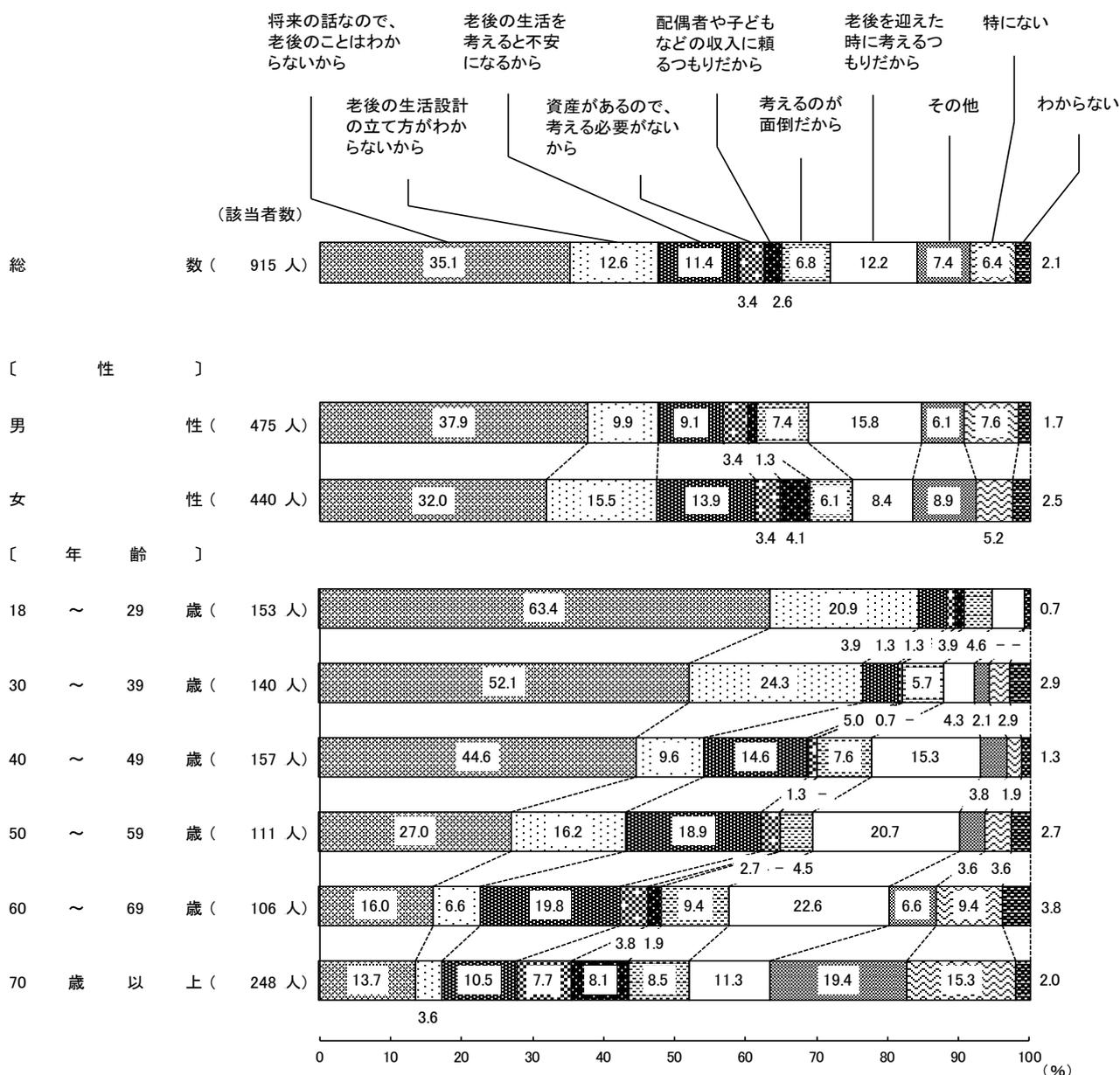
カ 老後の生活設計を考えたことがない理由

更問6（問2で「考えたことがない」と答えた方（915人）に）
 あなたが老後の生活設計を考えたことがない理由は何ですか。この中から最も当てはまるものを1つだけお答えください。

平成30年11月

- ・ 将来の話なので、老後のことはわからないから 35.1%
- ・ 老後の生活設計の立て方がわからないから 12.6%
- ・ 老後の生活を考えると不安になるから 11.4%
- ・ 資産があるので、考える必要がないから 3.4%
- ・ 配偶者や子どもなどの収入に頼るつもりだから 2.6%
- ・ 考えるのが面倒だから 6.8%
- ・ 老後を迎えた時に考えるつもりだから 12.2%

（老後の生活設計について「考えたことがない」と答えた者に）



2 公的年金制度への関心および広報について

(1) 公的年金制度に関心を持った年齢

問3 あなたは、公的年金制度に、何歳頃から関心を持ちましたか。この中から1つだけお答えください。

	平成 30 年 11 月
・ 20 歳未満	4.4%
・ 20 歳～29 歳	16.3%
・ 30 歳～39 歳	17.3%
・ 40 歳～49 歳	18.5%
・ 50 歳～59 歳	19.4%
・ 60 歳～69 歳	10.2%
・ 70 歳以上	0.6%
・ 関心がない	12.4%

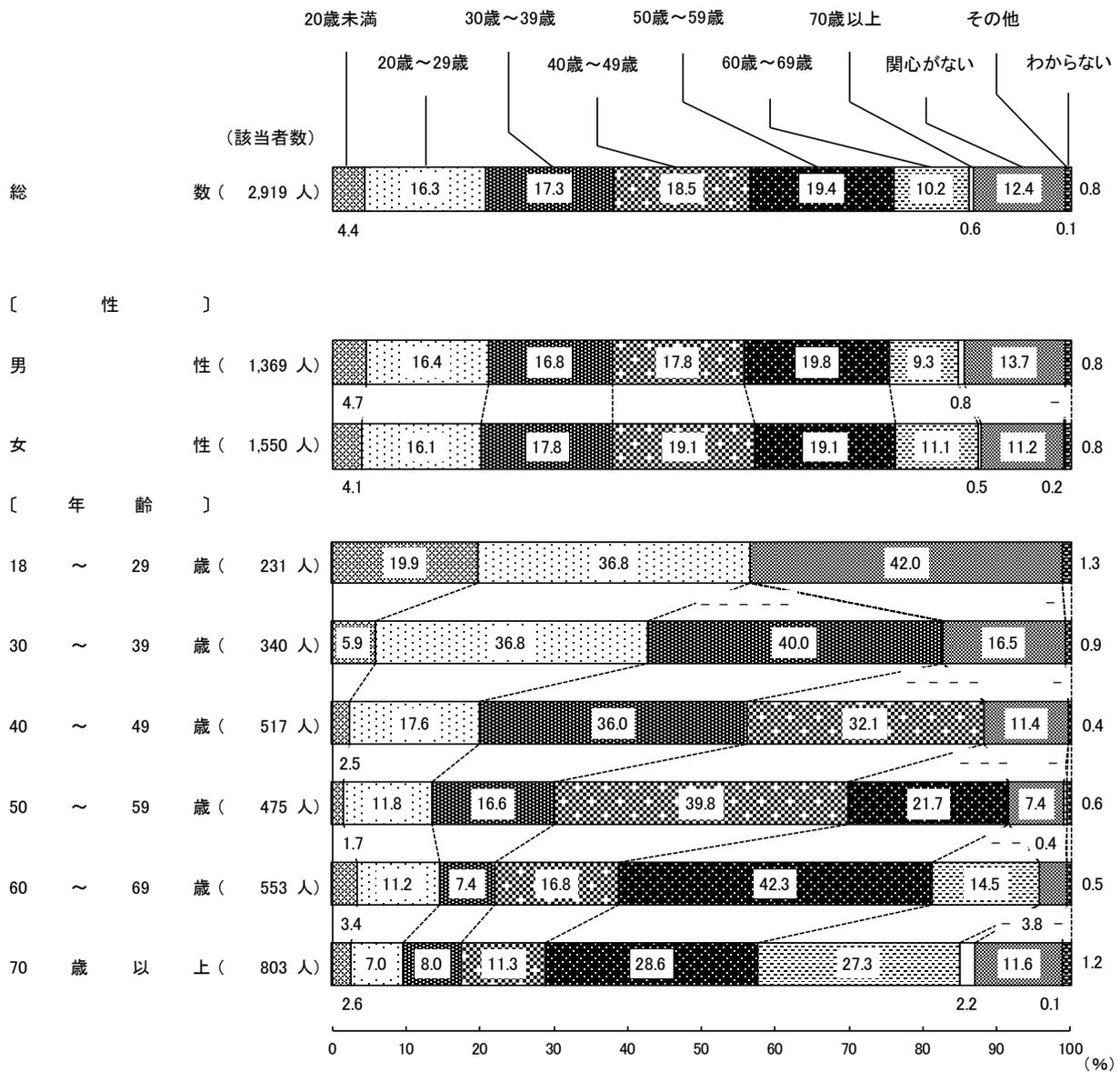


表11－参考 公的年金制度に対する関心を持ち始めた時期

(公的年金制度に「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた者に)

	該 当 者 数	20 歳 未 満	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 以 上	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成5年8月調査	2,854	1.6	16.2	25.2	28.2	21.0	7.1	0.6
平成10年3月調査	2,846	1.7	11.0	21.3	30.5	25.0	9.2	1.3
平成15年2月調査	2,780	1.9	11.6	19.7	23.8	28.5	13.9	0.6

(注) 平成5年8月、平成10年3月及び平成15年2月「公的年金制度に関する世論調査」では、公的年金制度に関心があると答えた者に、「あなたは、公的年金制度について、いつ頃から関心を持つようになりましたか。」と聞いている。

ア 公的年金制度に対する関心の内容

更問 1 (問 3 で「20 歳未満」「20 歳～29 歳」「30 歳～39 歳」「40 歳～49 歳」「50 歳～59 歳」「60 歳～69 歳」「70 歳以上」と答えた方 (2,531 人) に)

あなたは、公的年金制度のどのようなことに関心がありますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位 3 項目)
平成 30 年 11 月

- ・自分が受け取れる年金はどのくらいか 67.2%
- ・少子化、高齢化が進んでいく中で、将来の公的年金制度全体の姿はどのようなものになるのか 47.1%
- ・自分は年金をいつから受け取れるのか 39.2%

公的年金制度に「20歳未満」、「20歳～29歳」、「30歳～39歳」、「40歳～49歳」、「50歳～59歳」、「60歳～69歳」、「70歳以上」で関心を持ったと答えた者に、複数回答

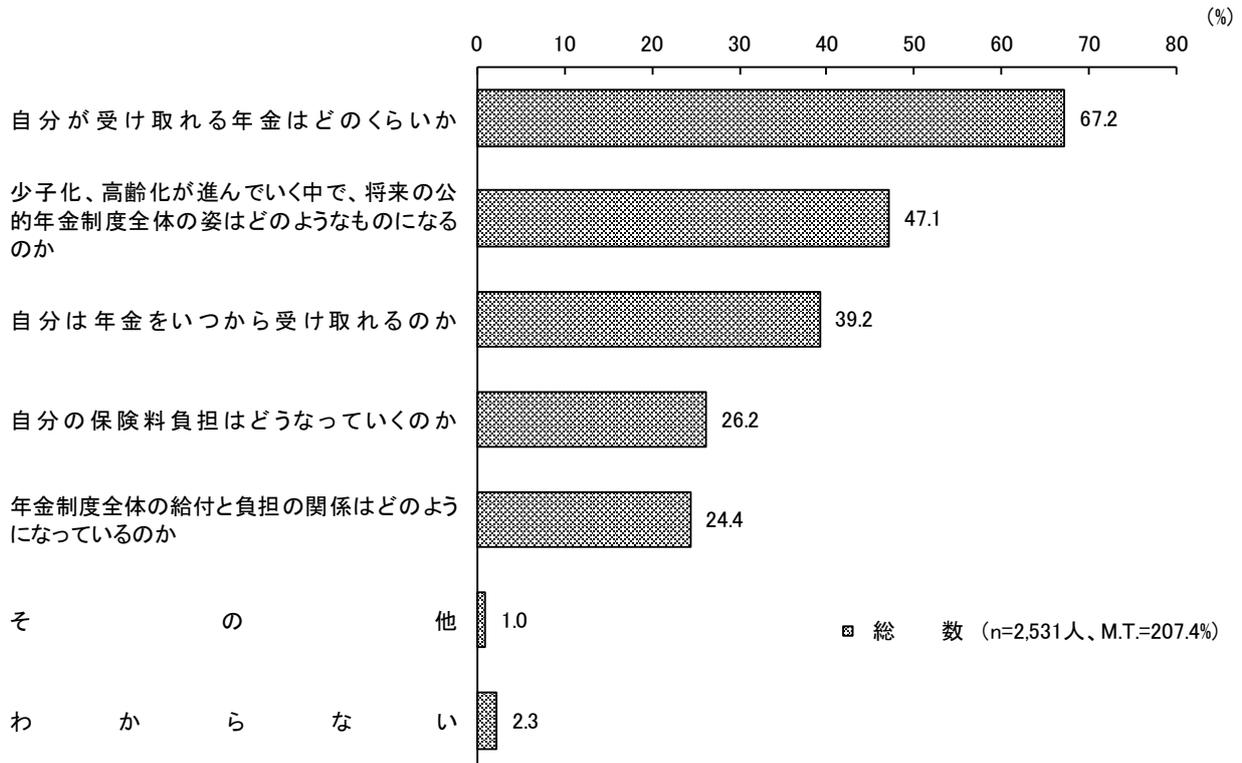


表12－参考 公的年金制度に対する関心の内容

(公的年金制度に「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	年 金 は あ る い は な っ て い る の か	少 子 化 、 高 齢 化 が 進 ん で い く 中 で 、 将 来 の 公 的 年 金 制 度 全 体 の 姿 は ど の よ う な も の に な る の か (注2)	公 的 年 金 制 度 全 体 の 現 状 は ど う な っ て い る の か (注3)	自 分 が く ら い か は ど の く ら い か 又 は 負 担 し た 保 険 料	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成10年3月調査	2,846	70.0	57.2	35.9	27.4	0.4	1.8	192.8
平成15年2月調査	2,780	67.3	56.0	37.7	31.0	0.7	1.8	194.6

(注1) 平成10年3月及び平成15年2月「公的年金制度に関する世論調査」では、公的年金制度に関心があると答えた者に、「あなたは、公的年金制度のどのようなことについて関心がありますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成10年3月調査では、「いわゆる少子化、高齢化が進んでいく中で、将来の年金制度全体の姿はどのようなものになるのか」となっている。

(注3) 平成10年3月調査では、「年金制度全体の年金の給付内容や保険料の負担の現状はどうなっているのか」となっている。

イ 公的年金制度に関心がない理由

更問2（問3で「関心がない」と答えた方（361人）に）

あなたが公的年金制度に関心がない理由は何ですか。この中から1つだけお答えください。

平成30年11月

- ・将来の話なので、老後の生活については深く考えていないから 58.2%
- ・老後の生活は公的年金に頼らず、貯蓄したり他に収入を得られるよう準備しているから（いたから） 16.6%
- ・老後の生活は公的年金に頼らず、配偶者や子どもなどに養ってもらおうつもりでいるから（いたから） 5.3%
- ・特にない 11.9%

（公的年金制度に「関心がない」と答えた者に）

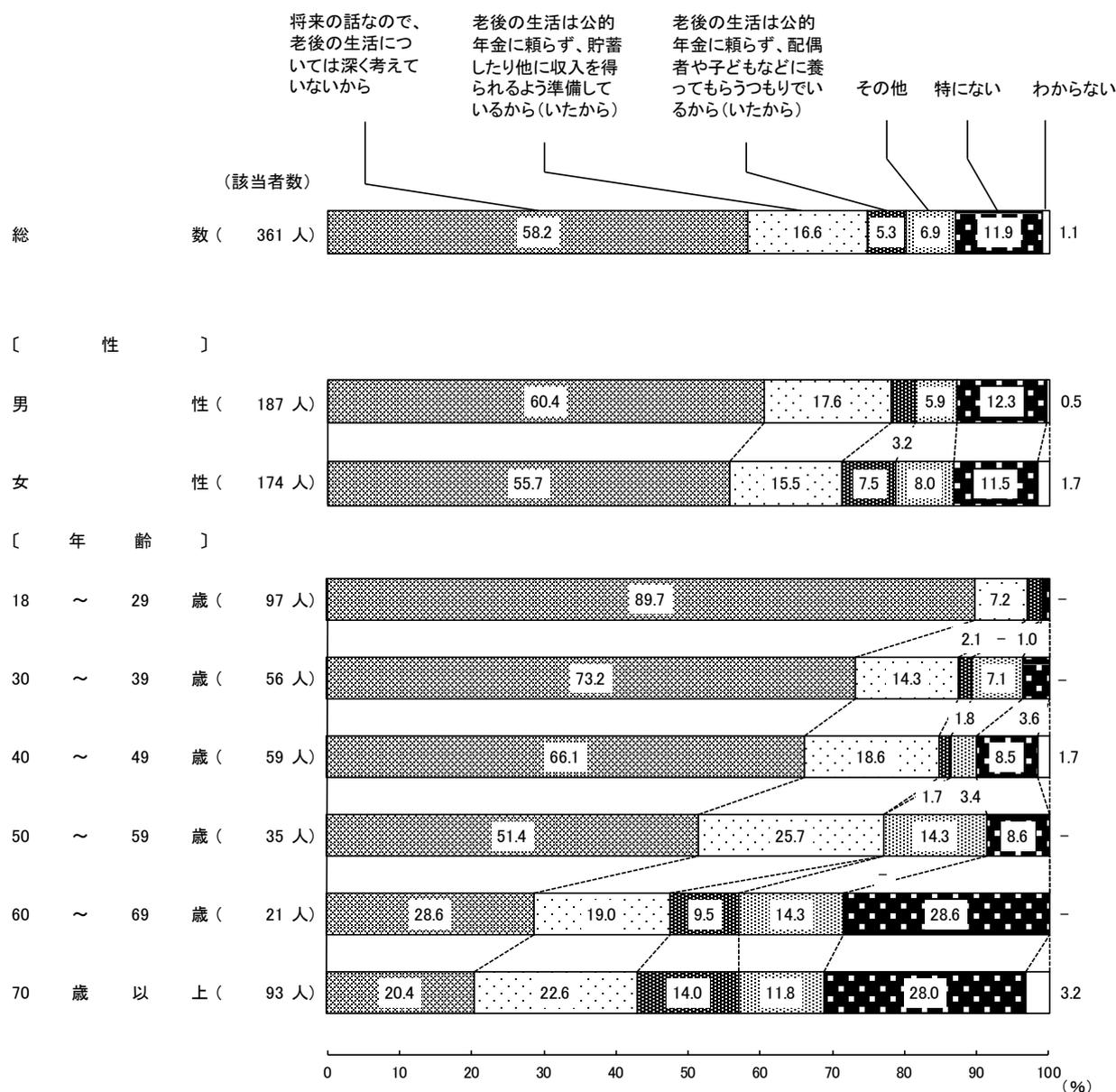


表13－参考1 公的年金制度に対する関心がない理由

(公的年金制度に「あまり関心がない」、「ほとんど(全く)関心がない」と答えた者に)

	該 当 者 数	あ ま り の 話 な か ら 考 え て い な い か ら 老 後 の 生 活 に つ い て は	老 後 の 生 活 は 公 的 年 金 に 頼 ら ず 、 貯 蓄 し て い ら る か ら	老 後 の 生 活 は 公 的 年 金 に 頼 ら ず 、 子 ど も に 養 つ て も ら う つ も り で い る か ら	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
平成15年2月調査	770	58.8	20.8	4.9	9.7	5.7

(注) 平成15年2月「公的年金制度に関する世論調査」では、公的年金制度に関心がないと答えた者に、「あなたが公的年金制度について関心がないのは、どのような理由からでしょうか。この中から1つお答えください。」と聞いている。

表13－参考2 公的年金制度に関心がない理由

(公的年金制度に関心がないと答えた者に)

	該 当 者 数	ま だ 若 く 、 将 来 の 生 活 に つ い て は 、 高 齢 期 の 生 活 を 考 え て い な い か ら	高 齢 期 は 、 公 的 年 金 に あ ら ま り 貯 蓄 し て い る か ら	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%
平成5年8月調査	924	56.2	25.2	6.4	12.2
平成10年3月調査	779	54.9	30.3	6.2	8.6

(注) 平成5年8月及び平成10年3月「公的年金制度に関する世論調査」では、公的年金制度に関心がないと答えた者に、「あなたが公的年金制度について関心がないのは、どのような理由からでしょうか。」と聞いている。

(2) 公的年金制度の仕組みや役割についての認識

問4 あなたは、現在の公的年金制度の仕組みや役割について、どのようなことを知っていますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)
平成30年11月

- ・学生を含めた20歳以上の国民は、加入する義務がある 77.6%
- ・支払った保険料及び期間に応じて年金が受けられる 74.6%
- ・年金は原則65歳から受け取り始めるが、本人の希望により60歳から70歳の間で受け取り始める時期を選択できる 70.8%
- ・現役で働いている世代が、年金を受け取っている高齢者を扶養する制度である 67.1%

(複数回答)

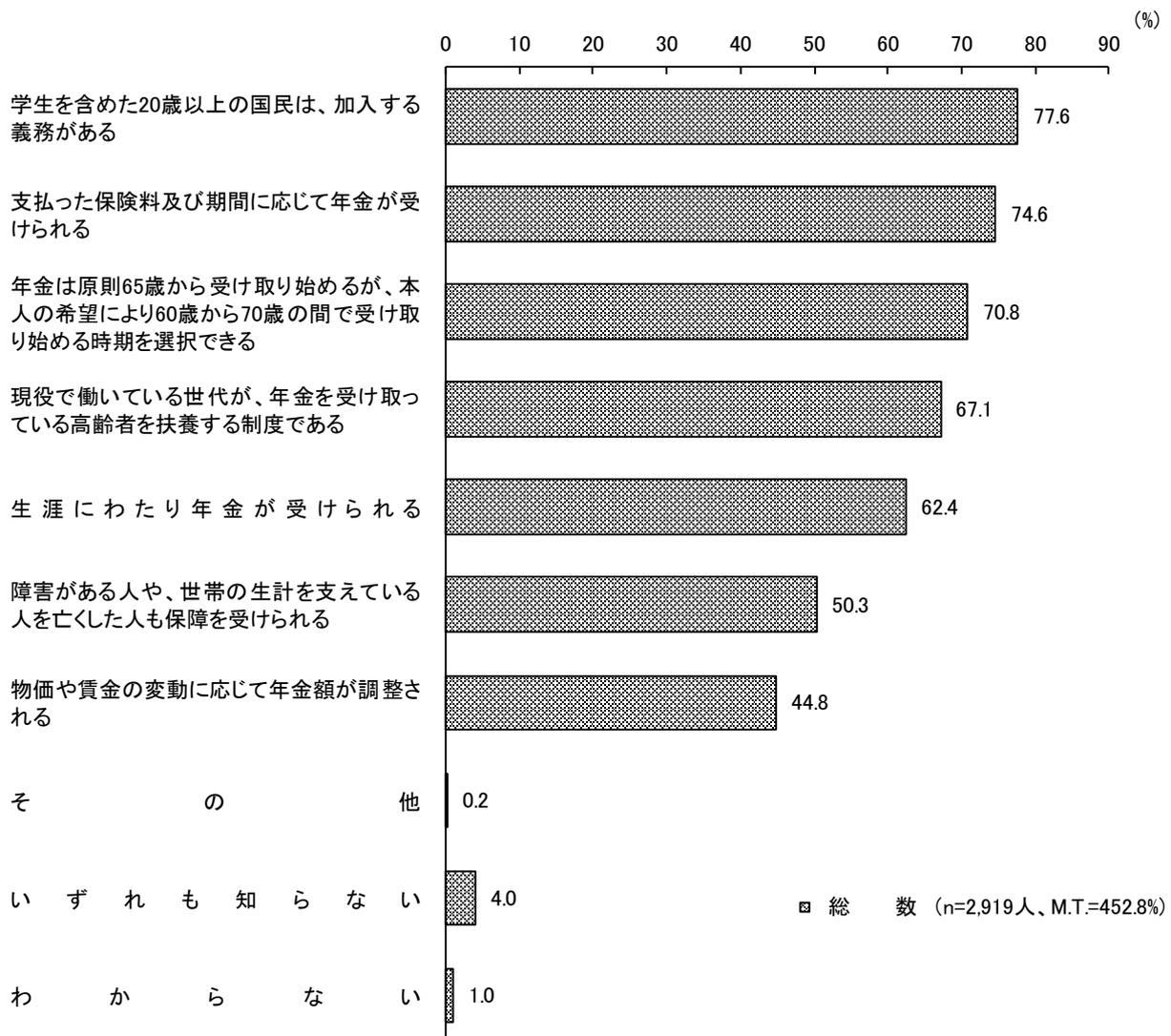


表14－参考 公的年金制度の仕組みや役割についての認識

(複数回答)

	該 当 者 数	誰 も が 、 加 入 す る 義 務 が あ る (注3)	保 険 料 を 支 払 っ た 期 間 に 応 じ て 年 金 が 受 け ら れ る (注4)	現 役 で 働 い て い る 高 齢 者 を 扶 養 す る と い う 制 度 で あ る (注5)	死 ぬ ま で 、 生 涯 に わ た り 年 金 が 受 け ら れ る (注6)	高 齢 者 に な っ た ら 年 金 が 受 け ら れ る ほ か 、 障 害 者 に な っ た り 生 計 維 持 者 が 死 亡 し た 場 合 に も 保 障 が 受 け ら れ る (注7)	物 価 や 賃 金 の 上 昇 に 応 じ た 年 金 額 が 保 障 さ れ る	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成5年8月調査	3,806	62.1	61.8	55.9	51.3	32.1	31.4	0.1	3.7	298.4
平成10年3月調査	3,646	46.1	48.5	52.8	43.9	30.0	27.8	0.3	4.3	253.8
平成15年2月調査	3,578	66.7	62.5	58.0	55.6	42.5	31.7	0.3	4.2	321.6

(注1) 平成5年8月及び平成10年3月「公的年金制度に関する世論調査」では、「あなたは、公的年金制度の仕組みや役割を、どのようなものだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成15年2月「公的年金制度に関する世論調査」では、「あなたは、現在の公的年金制度の仕組みや役割には、どのようなものがあると思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注3) 平成5年8月調査では、「20歳以上の国民の誰もが加入を義務づけられている」となっている。
平成10年3月調査では、「学生を含めた20歳以上の国民の誰もが、年金受給世代になるまで加入を義務づけられている」となっている。

(注4) 平成10年3月調査までは、「原則として、保険料を支払った期間に応じて年金が支給される」となっている。

(注5) 平成5年8月調査では、「現役で働いている世代によって、年金を受給している世代を扶養するという社会的な仕組み」となっている。
平成10年3月調査では、「現役で働いている世代が、年金を受給している世代を扶養するという社会的な仕組み」となっている。

(注6) 平成10年3月調査までは、「終身年金として生涯にわたり年金が支給される」となっている。

(注7) 平成10年3月調査までは、「高齢期の所得保障のほかにも、障害者になったり生計維持者が死亡した場合にも保障が受けられる」となっている。

(3) 公的年金制度の情報源

問5 あなたは、公的年金制度について、どこから情報を得ていますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)
平成30年11月

- ・テレビ 59.7%
- ・新聞・雑誌 42.4%
- ・家族・友人・知人 31.9%
- ・厚生労働省や日本年金機構などの国の広報(ホームページを含む) 30.9%

(複数回答)

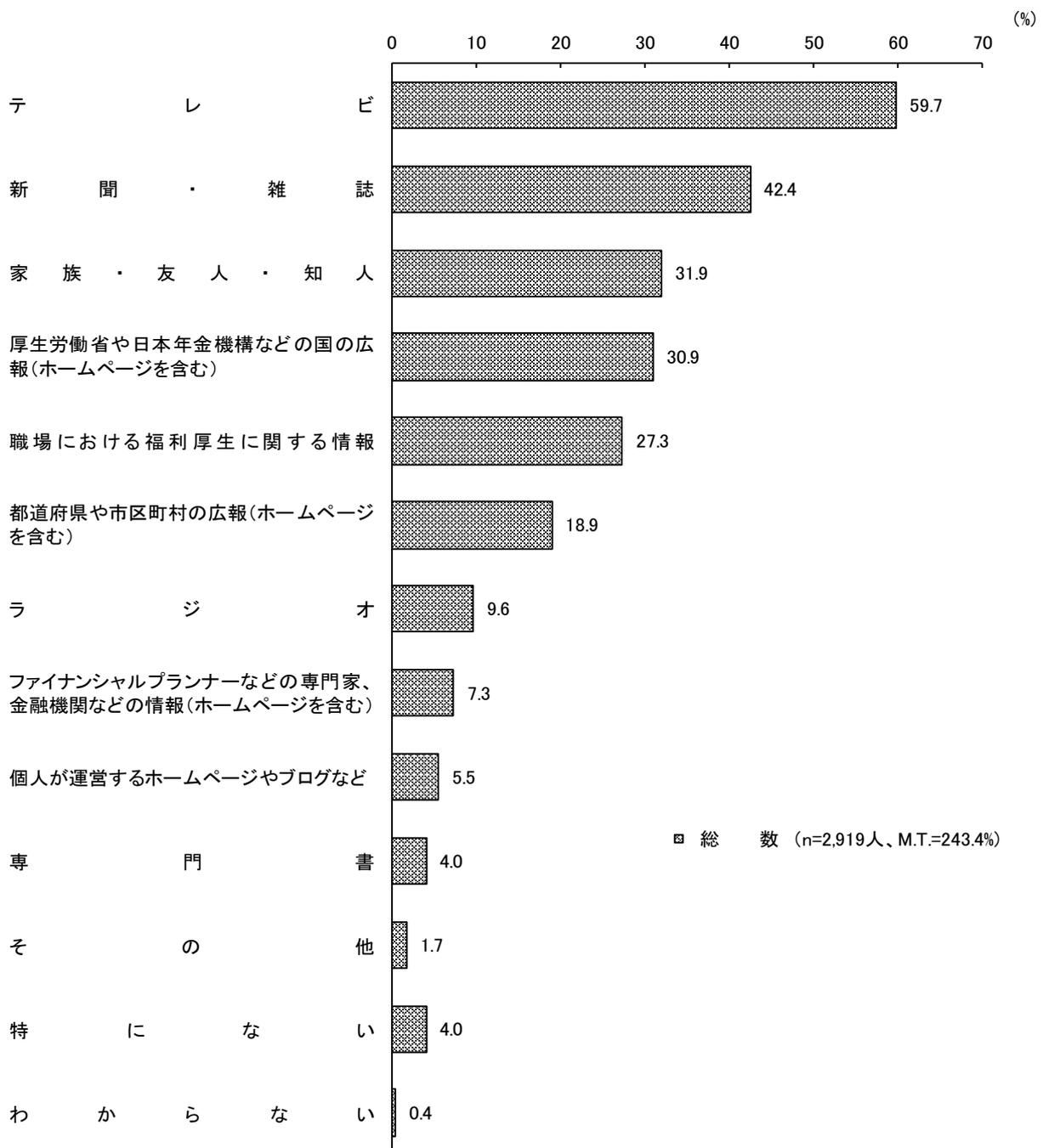


表15－参考 公的年金制度の情報源

(複数回答)

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞 ・ 雑 誌	都 道 府 県 や 市 町 村 の 広 報 (注2)	社 会 保 険 事 務 所 な ど の 国 の 広 報 (注3)	職 場 に お け る 福 利 厚 生 に 関 す る 情 報	友 人 ・ 知 人	専 門 書	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成5年8月調査	3,806	30.4	30.3	41.2	8.6	32.2	16.7	1.2	3.3	6.5	170.2
平成15年2月調査	3,578	53.7	42.4	29.5	22.8	18.5	12.3	1.2	1.5	4.7	186.5

(注1) 平成5年8月及び平成15年2月「公的年金制度に関する世論調査」では、「あなたは、ご自分が加入している公的年金制度について、どこから情報を得ていますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成5年8月調査では、「都道府県・市町村・社会保険事務所などの広報」となっている。

(注3) 平成5年8月調査では、「国の広報」となっている。

(4) 公的年金制度に関して知りたいこと

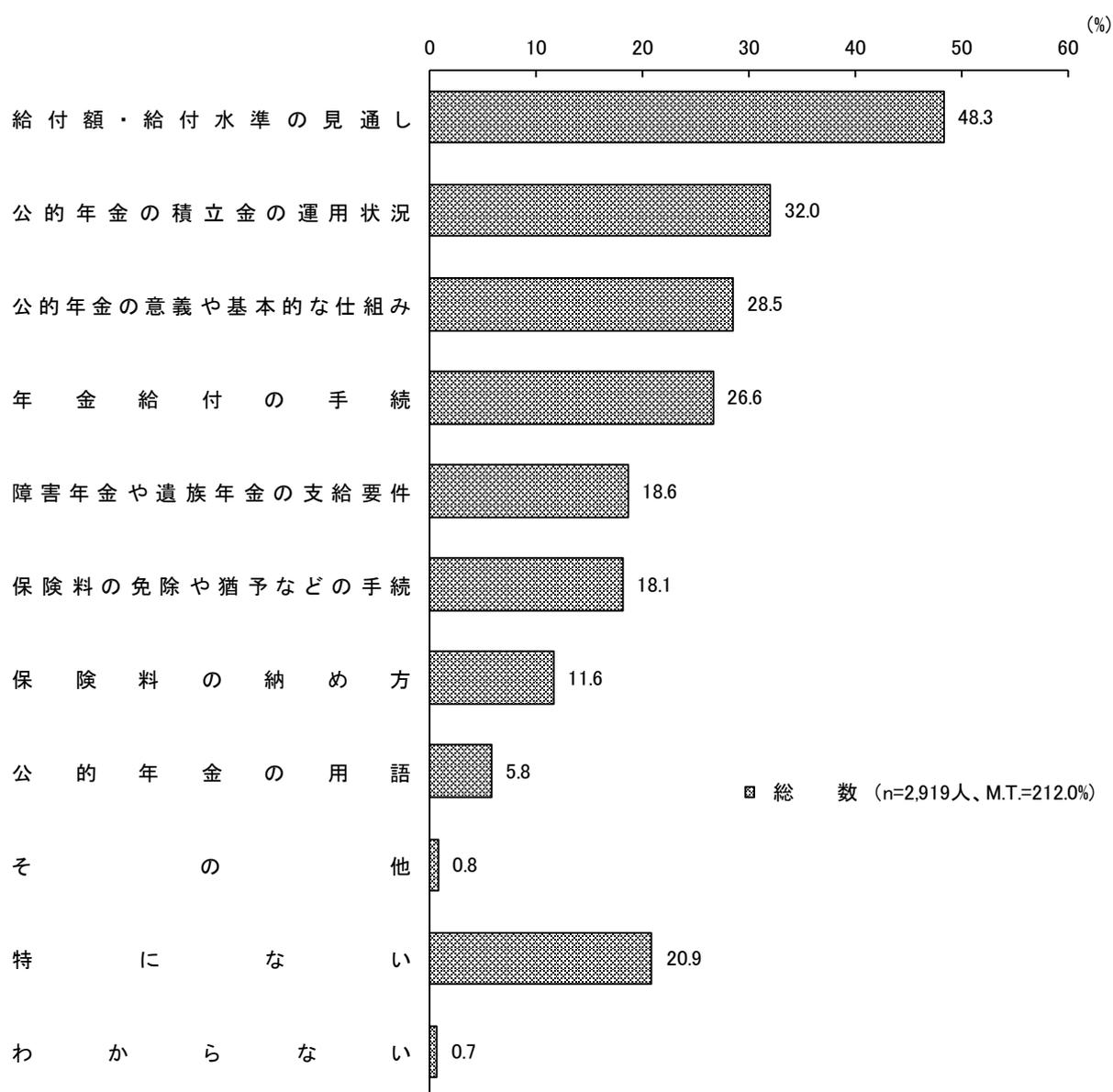
問6 あなたが、公的年金制度に関して、よく知りたいと思うことは何ですか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)
平成30年11月

- ・ 給付額・給付水準の見通し 48.3%
- ・ 公的年金の積立金の運用状況 32.0%
- ・ 公的年金の意義や基本的な仕組み 28.5%
- ・ 年金給付の手続 26.6%

- ・ 特にない 20.9%

(複数回答)



(5) 公的年金制度の理解を広げるための方策

問7 あなたは、公的年金制度の内容について、多くの方に理解してもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)
平成30年11月

- ・テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などによる周知広告の充実 61.7%
- ・学校における年金に関する授業の充実 45.7%
- ・ホームページやアプリ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を活用した周知広報の充実 33.6%
- ・セミナーや相談会など、年金について直接話を聞ける機会の増加 33.5%

(複数回答)

